

冬の停電に備えて

9月の北海道胆振東部地震による大規模停電の発生で、当たり前にある「電気」が止まると多くの生活基盤が動かなくなるほか、厳寒時は生命に直接影響することを身をもって経験しました。冬の訪れを前に今一度、**停電への備え**をしましょう。

停電が起こると・・・

- ①暖房機器が停止し、寒くなる。
- ②テレビ・電話などの**情報通信機器**が停止し、周囲の情報が断たれる。
- ③**照明機器**が停止し、真っ暗になる。
- ④**信号機**が停止し、交通混乱が発生。

停電の対処方法

- ①石油ストーブ・防寒衣・使い捨てカイロなど**停電でも使えるもの**を備蓄しましょう。
- ②電池式ラジオ、携帯電話などで**情報収集（ほくでん停電情報）**しましょう。
- ③**懐中電灯・予備電池**を準備しましょう。
- ④**不要不急の外出**を避けましょう。

冬季の停電から「命」を守るために、「ランタン」・「懐中電灯」・「電池」・「ポータブルストーブ」・「携帯ガスコンロ・ガスボンベ」など、停電時でも使用できるものを備蓄しましょう。また、自宅で寒さをしのげない場合は早めの避難をしましょう。

白老中学校で「1日防災学校」

避難所開設 実習で学ぶ

10月27日（土）に、白老中学校で北海道と町および教育委員会が共同で「1日防災学校」を開催しました。この事業は、「地域コミュニティの核となる場である学校を活用し、授業に防災の要素を取り入れた**1日防災学校**を実施する」と北海道が提唱したものです。

授業では、防災に関する講話を聴いた後、各学年ごとに「防災の基礎知識や防災かるた・避難所運営ゲーム、避難所開設の実習」などで生徒の防災力の向上を図りました。

全校への防災に関する講話



防災の知識（避難所運営ゲーム）



避難所実習（非常食・開設体験）

